

本校卒業生の活躍が紹介されました。

本校卒業生でもあり、本校わ太鼓部のコーチをして頂いている、築瀬和重さんの活躍が新聞各社にて紹介されました。

松平わ太鼓の築瀬さん 個人で日本一



集大成で栄誉

東京都大田区で開催された大太鼓「大和」一人打ちコンテストで最優秀賞を受賞した松平わ太鼓の築瀬和重さん(45) 岩倉市が29日、豊田役所(西町)を訪れ、大田区産市長に報告した。築瀬さんは「求めてきた太鼓のスタイルが評価されて優勝できてうれし」と喜びの言葉を伝えた。【岡田きよ代】

築瀬さんは松平中、松平で11年に2位になったが、高出身、高校生の時に太鼓 頂点を極めることができず、に出会い、以降松平わ太鼓「二人打ち」コンテストは「宇野代表」に所属し、今回で最後」と決めた。広告代理店「ライムプラン」大会は「大太鼓を共鳴させる」の仕事を傍ら続けて、せることができる真の奏者。2004年から東京を築瀬し、大田区から世界国際和太鼓コンテストや富へ和太鼓の魅力を発信し、土山太鼓祭りなど全国的な「と初開催」「和太鼓の一人打ち」大会に10回挑戦。最大の魅力、打音の大きさを東京国際和太鼓コンテストでは大太鼓に勝るものはな

重いバチに持ち替え 努力結実

い」と石川県の「浅野太鼓楽器店」の協力で仰ぎ打ち面6尺2寸(約1・9m)の「大和」を使用した。男性36人、女性10人がエントリーし2分30秒から3分のパフォーマンスを披露。大太鼓と肉体との対一の真剣勝負を競った。午前の予選を通過した男性10人、女性3人が本戦に進んだ。「大太鼓は己を出していく」と自らの太鼓への思いを語る築瀬さんへへの思いを語る築瀬さんへへの思いで使用したバチでは太鼓に負けている」と重いバチに持ち替えて挑み、1位を手にした。

大田市長は太鼓のどきを打つのかと興味深げに質問し、実際にバチを手に持ち、今後も頑張っていくと謙虚に答えた。築瀬さんは「松平わ太鼓のパフォーマンスとして太鼓を叩き続けていきたい。また、後進の育成にも力を入れ、基礎をしっかりと伝えていきたい」と話した。

松平わ太鼓は約600年の歴史を持つ「楽太鼓」を打つことを目標に84年に結成、小学4年から50歳代の約50人が所属。週2回練習を行い、隔年の定期公演をはじめ、年間約50回イベントなどに出演し力強い音を響かせている。

↑ (新三河タイムス 2015年10月8日)

和太鼓コンテスト日本一



打面6尺2寸の大太鼓「大和」を打つ築瀬和重さん。コンテスト会場で。

11回目の挑戦で栄冠

40周年式で行った松平わ太鼓の筑瀬和重さん(45)岩倉市が先月27日、東京大田区で開催された「大和」一人打ちコンテストで優勝された。築瀬さんは「求めてきた太鼓のスタイルが評価されて優勝できてうれし」と喜びの言葉を伝えた。【岡田きよ代】

松平わ太鼓 築瀬和重さん

人出場、築瀬さんは11年連続で、用バチが太鼓に負けていた。重いバチに持ち替えて挑み、1位を手にした。

大田市長は太鼓のどきを打つのかと興味深げに質問し、実際にバチを手に持ち、今後も頑張っていくと謙虚に答えた。築瀬さんは「松平わ太鼓のパフォーマンスとして太鼓を叩き続けていきたい。また、後進の育成にも力を入れ、基礎をしっかりと伝えていきたい」と話した。

松平わ太鼓は約600年の歴史を持つ「楽太鼓」を打つことを目標に84年に結成、小学4年から50歳代の約50人が所属。週2回練習を行い、隔年の定期公演をはじめ、年間約50回イベントなどに出演し力強い音を響かせている。

← (矢作新報 2015年10月9日)